

## 特殊詐欺 今年3度防ぐ



署長感謝状と特殊詐欺被害未然防止優良店の認定を受ける加藤昭博支店長(右)=可児市

## 東濃信金可児支店 県警が優良店認定

可児署は、特殊詐欺を未然に防いだとして可児市広見、東濃信用金庫可児支店に署長感謝状を贈った。支

店は2月26日と3月6日にも、仮想通貨の投資詐欺を未然に防いでおり、県警本部から「特殊詐欺被害未然防止優良店」の認定も受けた。可児署管内では初。

3月31日午前9時30分ごろ、美濃加茂市の60代男性が約20万円の振り込みをしようと来店。対応した職員が理由を尋ねたところ、男性は古銭の投資に必要と答えた。やりとりしたフェイクブックのメッセージの画面に「銀行には古銭の

ことは言わないで」と記述があり、上司の次長が署に通報し調べたところ、詐欺未遂であることが分かった。

加藤昭博支店長によると、男性は詐欺ではないと主張したが「振込先が個人名であることに職員は違和感を持った」と振り返った。この職員と次長は昨年11月に特殊詐欺を防ぎ、署長感謝状を受けている。

加藤支店長は「窓口での確認や声かけ、警察との連携で、お客さまの大切な財産を守る」と話した。田中正樹署長は「県内の特殊詐欺は件数、被害額とも急増している。意識を高く持ち防いでもらっている」とたたえた。(中村芳紀)